

＜小林製薬 2014年 職場における喫煙者の“せき・たん”実態調査＞

「一緒に仕事を避けたい!」「近寄りたくない!」と思われる
職場内『ケア下手スモーカー』の実態

職場で喫煙に伴う“せき・たん”が原因で同僚に避けられたと感じ、傷ついた喫煙者も…
しかし、女性社員の8割は「喫煙に伴う“せき・たん”をケアしているスモーカー」に好印象!

＜調査の背景＞

近年、健康への意識の高まりから、飲食店や企業をはじめとして禁煙・分煙の取り組みが進んでおります。また、2014年5月には、初めて喫煙率が20%を下回ったことが判明し、ますます喫煙者は肩身の狭い思いをしていると言えます。

今回、喫煙者が周囲から嫌がられる原因として一般的なニオイではなく、見過ごされがちな喫煙に伴う“せき・たん”に焦点をあてました。会社に勤める男性喫煙者 309 名には“せき・たん”に関するケア実態と職場での影響、職場に喫煙者のいる女性社員 312 名には同僚や上司の喫煙者に対する印象を調査いたしました。

小林製薬は、今後も喫煙者が抱える特有の症状に着目してまいります。

＜総括＞

■**職場での喫煙に伴う“せき・たん”が気になりつつもケアができていない男性喫煙者が多数**

- (1) 約 8 割(77.7%)の男性喫煙者が、「職場での喫煙に伴う“せき・たん”が気になっている」
- (2) 喫煙に伴う“せき・たん”のケアをしている男性喫煙者は、約 3 割(28.8%)にとどまる
- (3) “せき・たん”のケアをしている男性喫煙者のケア方法は「のど飴をなめる」(70.8%)が大多数
- (4) “せき・たん”のケアをしても、そのケアに満足できていない男性喫煙者は約 4 割(43.8%)
- (5) 男性喫煙者の約 7 割(70.6%)が、「自分の“せき・たん”の症状を改善したい」

■**「一緒に仕事を避けたい!」男性喫煙者に対する女性社員の厳しいまなざし**

- (1) 喫煙者(同僚や上司)の喫煙に伴う“せき・たん”が気になった経験のある女性社員は約半数(46.8%)
- (2) 半数以上(57.1%)の女性社員が、「喫煙に伴う“せき・たん”の気になる男性喫煙者との仕事を避けたい」
- (3) 喫煙者(同僚や上司)の喫煙に伴う“せき・たん”が気になった時の女性社員の対処法
「近寄らないようにする」が約 6 割(58.9%)、「言いづらいため特に対処しない」が約 4 割(41.8%)と顕著
- (4) 多くの女性社員(81.1%)は、「普段から喫煙に伴う“せき・たん”をケアしている喫煙者に好印象」

■**「避けられて傷ついた…」職場で肩身の狭い男性喫煙者**

- (1) 約 2 割(17.8%)の男性喫煙者が、「喫煙に伴う“せき・たん”が原因で、同僚から職場で避けられた」と感じた経験あり
- (2) 男性喫煙者が喫煙に伴う“せき・たん”が原因で同僚から避けられていると感じるのは、「嫌そうな顔をされる(54.5%)」、「少し距離を置かれる(45.5%)」、「窓を開けるなど、換気される(38.2%)」
- (3) 喫煙に伴う“せき・たん”が原因で、同僚から職場で避けられたと回答した男性喫煙者の約 8 割(81.8%)が、「同僚から避けられて傷ついた」

***** 報道関係の方からのお問い合わせ先 *****
小林製薬株式会社 広報総務部

【東京】 網盛／西片／浦
TEL:03-5541-8016 FAX:03-3555-3380

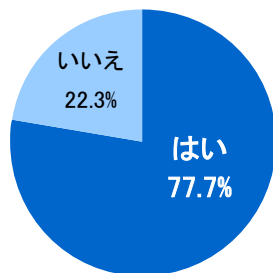
【大阪】 小山
TEL:06-6222-0142 FAX:06-6222-4261

(文中および表中の数字は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、全体の%が 100%と異なることがあります。)

■職場での喫煙に伴う“せき・たん”が気になりつつもケアができていない男性喫煙者が多数

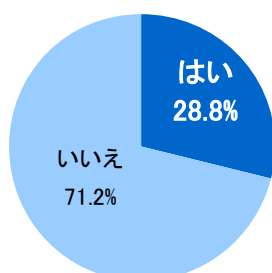
(1) 約 8 割(77.7%)の男性喫煙者が、「職場での喫煙に伴う“せき・たん”が気になっている」

Q. 職場で自身の喫煙によるせき・たんが気になったことはありますか。(N=309/SA)



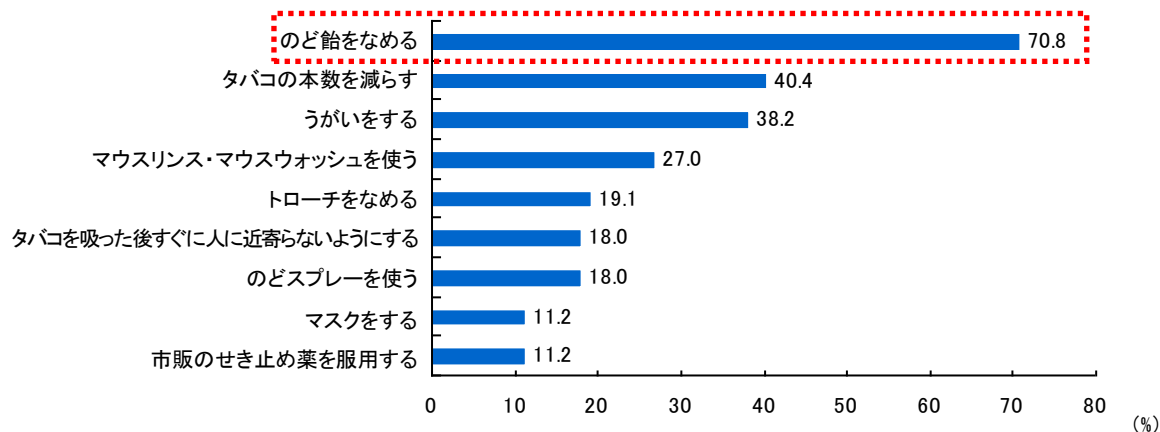
(2) 喫煙に伴う“せき・たん”のケアをしている男性喫煙者は、約 3 割(28.8%)にとどまる

Q. 自身の喫煙に伴うせき・たんのケアをしていますか。(N=309/SA)



(3) “せき・たん”のケアをしている男性喫煙者のケア方法は「のど飴をなめる」(70.8%)が大多数

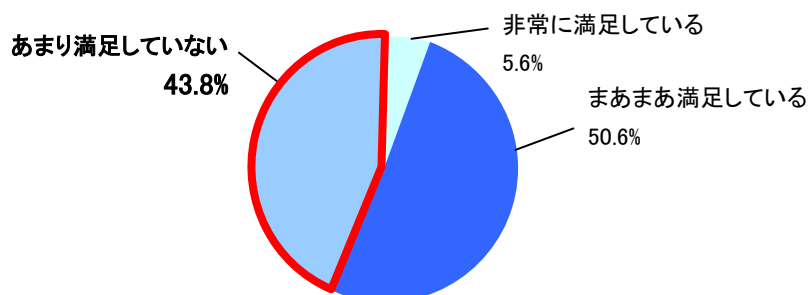
Q. 「自身の喫煙に伴うせき・たんのケアをしている」と回答した方にお聞きます。どのようなケアをしていますか。(N=89/MA)



(4) “せき・たん”のケアをしても、そのケアに満足できていない男性喫煙者は約 4 割(43.8%)

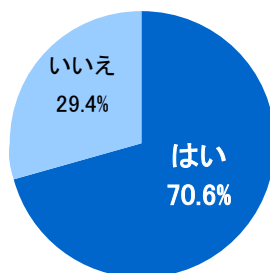
Q. 「自身の喫煙に伴うせき・たんのケアをしている」と回答した方にお聞きます。

自分がしているケアに満足されていますか。(N=89/SA)



(5) 男性喫煙者の約7割(70.6%)が、「自分の“せき・たん”の症状を改善したい」

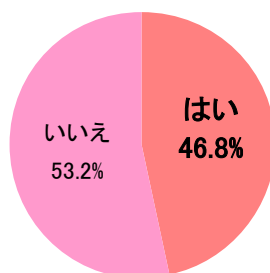
Q. 自分のせき・たんの症状を改善したいと思いますか。(N=309/SA)



■「一緒に仕事を避けたい！」男性喫煙者に対する女性社員の厳しいまなざし

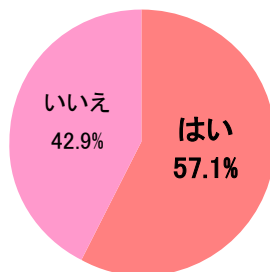
(1) 喫煙者(同僚や上司)の喫煙に伴う“せき・たん”が気になった経験のある女性社員は約半数(46.8%)

Q. 喫煙者の同僚や上司の喫煙にともなうせき・たんが気になったことはありますか。(N=312/SA)



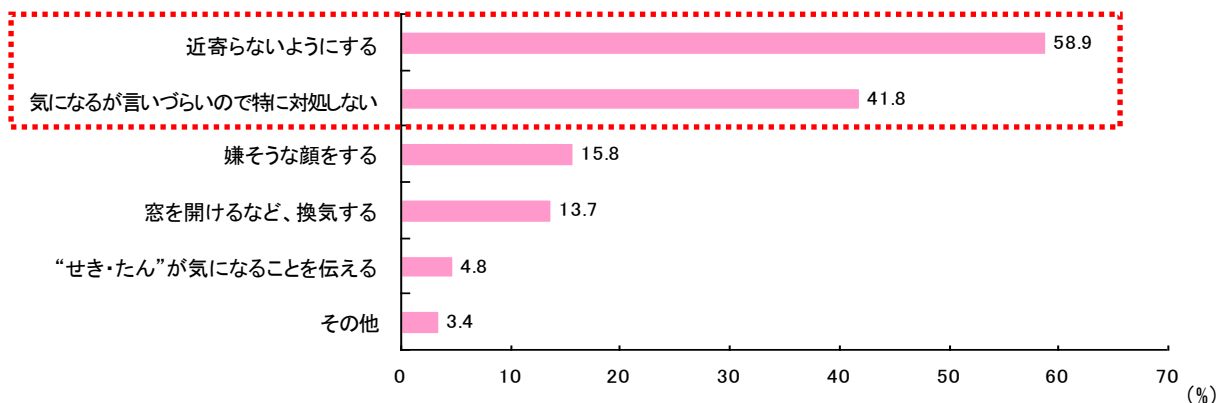
(2) 半数以上(57.1%)の女性社員が、「喫煙に伴う“せき・たん”の気になる男性喫煙者との仕事を避けたい」

Q. 喫煙に伴うせき・たんの気になる喫煙者との仕事を避けたいと思いますか。(N=312/SA)



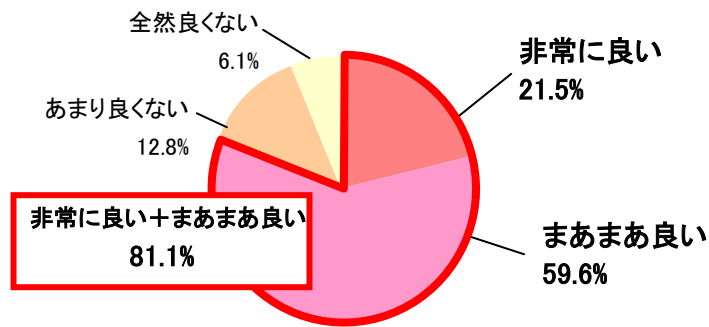
(3) 喫煙者(同僚や上司)の喫煙に伴う“せき・たん”が気になった時の女性社員の対処法
「近寄らないようにする」が約6割(58.9%)、「言いづらいいため特に対処しない」が約4割(41.8%)と顕著

Q. 「喫煙者の同僚や上司の喫煙にともなうせき・たんが気になったことがある」と回答した方にお聞きます。せき・たんが気になったとき、どのように対処しますか。(N=146/MA)



(4) 多くの女性会社員(81.1%)は、「普段から喫煙に伴う“せき・たん”をケアしている喫煙者に好印象」

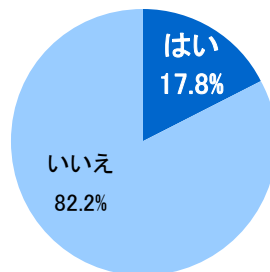
Q. 普段から喫煙に伴うせき・たんをケアしている喫煙者の印象はどうか。(N=312/SA)



■ 「避けられて傷ついた…」職場で肩身の狭い男性喫煙者

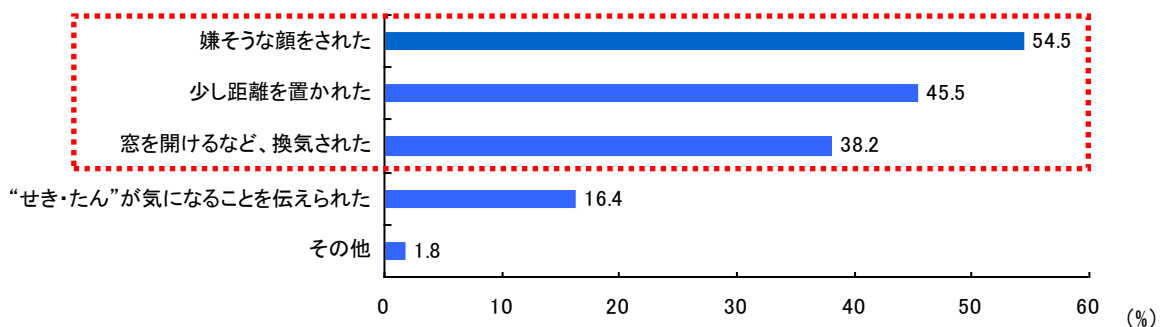
(1) 約2割(17.8%)の男性喫煙者が、「喫煙に伴う“せき・たん”が原因で、同僚から職場で避けられた」と感じた経験あり

Q. 自身の喫煙に伴うせき・たんが原因で、同僚に職場で避けられていると感じたことはありますか。(N=309/SA)



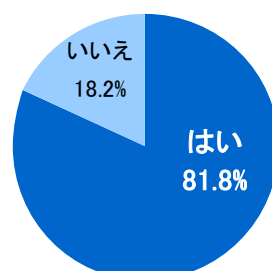
(2) 男性喫煙者が喫煙に伴う“せき・たん”が原因で同僚から避けられていると感じるのは、「嫌そうな顔をされる(54.5%)」、「少し距離を置かれる(45.5%)」、「窓を開けるなど、換気される(38.2%)」

Q. 「自身の喫煙に伴うせき・たんが原因で、同僚に職場で避けられていると感じたことがある」と回答した方にお聞きます。具体的にどのように避けられましたか？(N=55/MA)



(3) 喫煙に伴う“せき・たん”が原因で、同僚から職場で避けられたと回答した男性喫煙者の約8割(81.8%)が、「同僚から避けられて傷ついた」

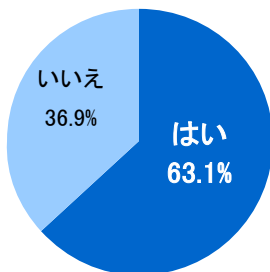
Q. 「自身の喫煙に伴うせき・たんが原因で、同僚に職場で避けられていると感じたことがある」と回答した方にお聞きます。同僚から避けられていると感じて、傷つきましたか。(N=55/SA)



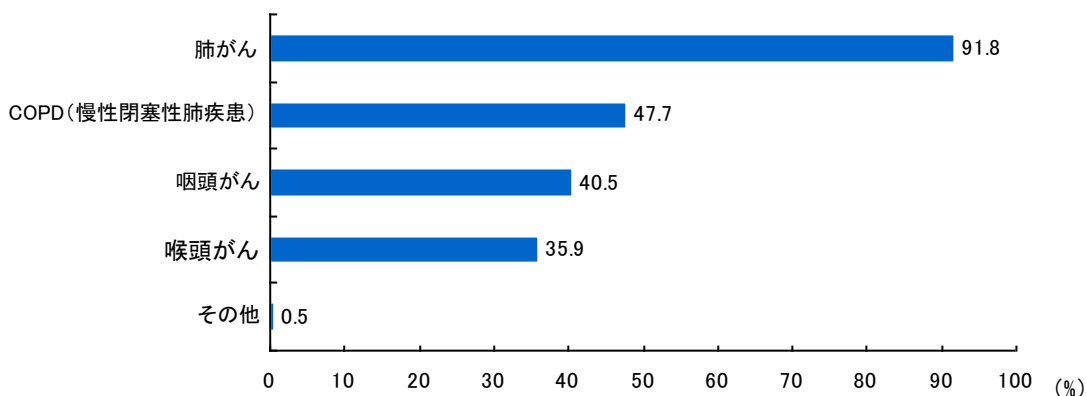
<参考:喫煙が原因とされる病気に関する意識の調査>

上記調査と同様の男性サンプル(30代以上/N=309)に対し、喫煙が原因とされる病気に関する意識を調査いたしました。

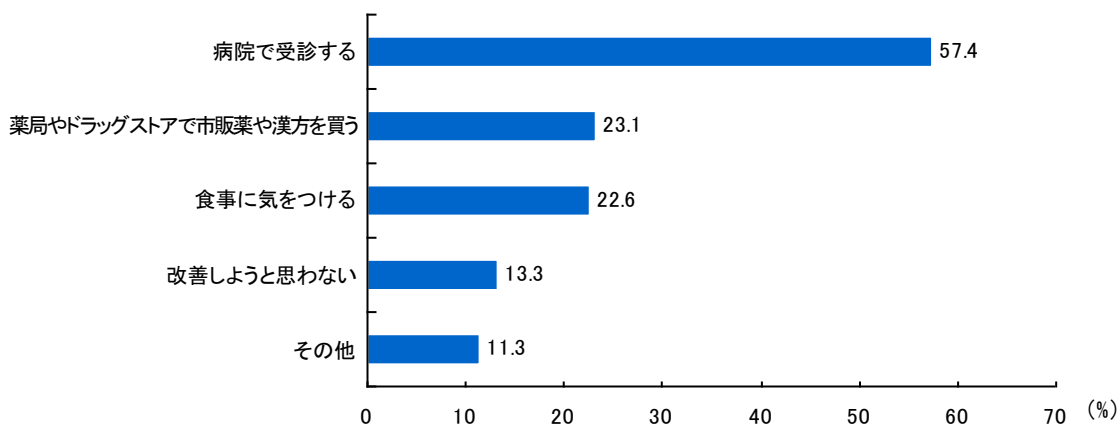
Q. 喫煙が原因とされる病気に自分が将来かかるかどうか気にしていますか。(N=309/SA)



Q. 「喫煙が原因とされる病気に自分が将来かかるかどうか気にしている」と回答した方にお聞きます。次のうち、どの病気に将来かかることを気にしていますか。(N=195/MA)



Q. 「喫煙が原因とされる病気に自分が将来かかるかどうか気にしている」と回答した方にお聞きます。どのようにして症状を改善しようと思えますか。(N=195/MA)



<調査設計>

- 1) 調査方法: インターネット調査
- 2) 調査対象者: 会社に勤める男性喫煙者 309 名(30代~50代) ※ブリンクマン指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が200以上
職場に喫煙者のいる女性会社員 312 名(20~50代)

3) 有効回収数:

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	なし	103	103	103	309
女性	78	78	78	78	312

4) 実施期間: 2014年9月26日~9月27日